



このたびは、ロンクリーンをお買いいただき、ありがとうございました。

ご使用前にこの「ご使用説明書」とこの説明書の末尾についている保証書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

■お読みになった後は必ず大切に保管してください。

ご使用説明書

〈簡易水洗トイレ〉

— 品番 —

L J - 7 7 7

L U - 1 6 0 ・ 1 7 0

L J - 7 6 0

L U - 3 6 0 ・ 3 7 0

L J - 6 6 0

保証書付

もくじ

品番・型式記号説明 P. 2

安全上のご注意 P. 2

ご使用にあたって P. 5

こんなときは P. 7

保証書 裏表紙

説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

品番・型式記号説明

- L J-7 7 7 …………… 洋式型本体（陶器製）・エアーフラッシュバルブ・エロンゲート
旋回流洗浄方式
 - L J-7 6 0 …………… 洋式型本体（陶器製）・エアーフラッシュバルブ・旋回流洗浄方式
 - L J-6 6 0 …………… 和式型本体（陶器製）・エアーフラッシュバルブ
 - L U-1 6 0・1 7 0 …………… 小便器ストール型本体（陶器製）・エアーフラッシュバルブ
 - L U-3 6 0・3 7 0 …………… 中型小便器ストール型本体（陶器製）・エアーフラッシュバルブ
-
- H …………… 暖房便座
 - N …………… 洗浄ノズル付
 - MA・MB …………… マルチシャワー付
（温水洗浄便座）
 - F …………… 凍結防止ヒーター付
 - N 2 …………… 水抜付洗浄ノズル付
 - (寒) …………… 器具寒冷地仕様

安全上のご注意 ⚠️ 注意

⚠️ 警告

使用上のご注意

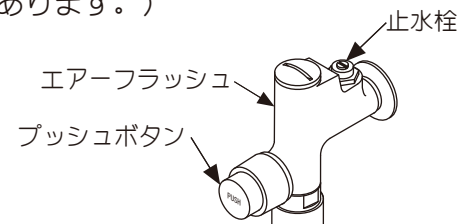
電気部品全般の使用上のご注意

- 電源プラグに付着したほこりは取り除いてください。
（感電、漏電、火災の原因になります。）
- 電源プラグはガタツキのないように根元まで差し込んでください。
（感電、漏電、火災の原因になります。）
- 電源コードには重いものを乗せたり、ドアに挟んだり、たばねたりしないでください。
（コードの破損や加熱により、感電や火災の原因になります。）
- 暖房便座・温水洗浄便座には水や小便、洗剤などをかけないでください。
（感電、漏電、火災の原因になります。）
- 暖房便座・温水洗浄便座が損傷した場合には、使用を中止し交換してください。
（感電、漏電、火災の原因になります。）

安全上のご注意 ⚠️ 注意

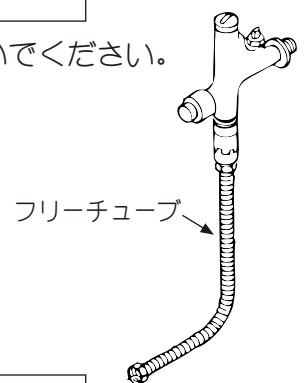
⚠️ 注意

- この製品は簡易水洗便器で、汲み取り式です。水洗トイレではありませんので、公共下水道や浄化槽には接続できません。便槽が一杯になる前に、必ず汲み取りを行ってください。（便槽があふれる場合があります。）
- 便器や金具類に衝撃を与えないでください、また熱湯をそそがないでください。（衝撃で破損したり、金具類が外れて漏水の原因になります。）
- 製品にワレやカケが発生したときは交換してください。（ワレやカケた箇所に肌が触れると、ケガをする場合があります。）
- 製品は改造して使用しないでください。（故障の原因になる場合があります。）
- 便器を洗剤で洗った後は、水でよく洗い流してください。（プラスチック部分が残って、使用できなくなる場合があります。）
- 掃除をされる場合、手袋などで手を保護して行ってください。（金属や便器に当たり、思わぬケガの原因になる場合があります。）
- 凍結の恐れのある場合には、エアーフラッシュの水を必ず抜いてください。（凍結により、エアーフラッシュが破損する原因になる場合があります。）
- 押しボタンは押し続けしないでください。（水が大量に出て、便槽が満杯になるのが早まります。）
- 水圧が高い場合は、止水栓を調整し、水量を弱めてください。（水が便器の外に飛び出し、床を濡らす場合があります。）



大便器（品番 L J-777・760・660）をご使用の方へのご注意

- ティッシュ、新聞紙、紙おむつ、生理用品など、水に溶けない紙は流さないでください。（污水管が詰まり汚物が流れなくなる場合があります。）
- フリーチューブをいたずらしないでください。（破損したりナットがゆるんで、水漏れの原因になる場合があります。）
- 便皿部分は定期的に掃除してください。（尿石などが付着して、便皿開閉不良の原因になる場合があります。）



洋式便器（品番 L J-777・760）をご使用の方へのご注意

- 便器を洗う洗剤は便座にかけないでください。（便座をいためる原因になる場合があります。）
- 洋式便器に腰かけた時は、便ぶたによりかからないでください。（破損や落下により、ケガの原因になる場合があります。）
- 便座便ぶたの上には乗らないでください。（破損や落下により、ケガの原因になる場合があります。）

安全上のご注意 注意

注意

暖房便座（品番H）をご使用の方へのご注意

- 暖房便座に付いてくる説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
（感電、漏電、火災の原因になる場合があります。）
- 長い時間座り続けしないでください。特にひふの弱い方はご注意ください。
（座り続けると、低温ヤケドをする場合があります。）
- 暖房便座を便器からはずして、掃除をしてください。
（便座の裏に小便がたまり、臭気や便座の破損の原因になります。）
- 長期間留守にする場合は、電源プラグを抜いてください。
（火災の原因になる場合があります。）

マルチシャワー付（温水洗浄便座）をご使用の方へのご注意

- マルチシャワーに付いてくる説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
（感電、漏電、火災の原因になる場合があります。）
- 長期間留守にする場合は、電源プラグを抜いてください。
（火災の原因になる場合があります。）

凍結防止ヒーター付（品番F）をご使用の方へのご注意

- 長期間留守にする場合は、電源プラグを抜いてください。
（火災の原因になる場合があります。また器具破損の原因になります。）

寒冷地対策付（品番寒）をご使用の方へのご注意

- 次の方法で水抜きを必ず行ってください。水道の元栓を閉め、エアーフラッシュの水抜き栓を閉める。水が抜けたら水抜き栓を元に戻してください。
（戻し忘れた場合、水道の元栓を開けると水が出たままになり、便槽が満杯になる場合があります。）

洗浄ノズル付（品番NまたはN₂）をご使用の方へのご注意

- 洗浄ノズルご使用後は、必ずバルブを閉めホース内の水を抜いてください。
（閉め忘れると、ホースが破損し、室内や他の家具を濡らす場合があります。）
- ホースは折り曲げたり、傷付けたりしないでください。
（ホースが破損し、室内や他の家具を濡らす場合があります。）

小便器をご使用の方へのご注意

- ガム、タバコ等は流さないでください。
（汚水管が詰まり汚水が流れなくなる場合があります。）

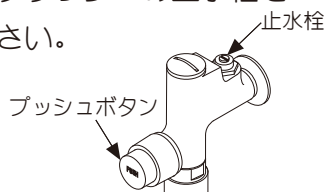
ご使用にあたって

ご使用方法

- ご使用後、プッシュボタンを手でソフトに押し込んでください。

⚠️ 足で押ししたり、斜めに押ししたり、強いショックをかけないようにしてください。

- プッシュボタンは押し続けしないでください。
- 水圧が高い場合は、エアーフラッシュの止水栓を調整し、水量を弱めてください。



- 凍結の恐れのある場合は、エアーフラッシュの止水栓を閉め、水を抜いてください。

■LJ-777・760・660をご使用の方へ

- ご使用の紙は水に溶けやすい物をお使いください。

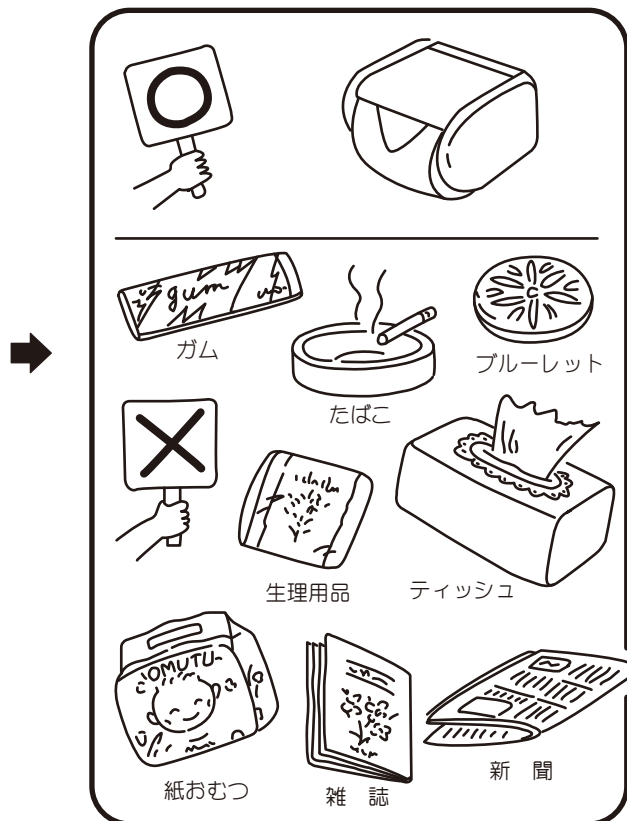
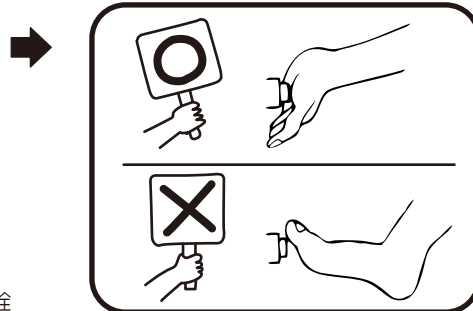
⚠️ ティッシュ、新聞紙、雑誌、紙おむつ、生理用品は流さないでください。

- 少量の水しか使いませんので、ご使用済みの紙はできるだけ丸めて便器排便口に落としてください。

⚠️ ご注意

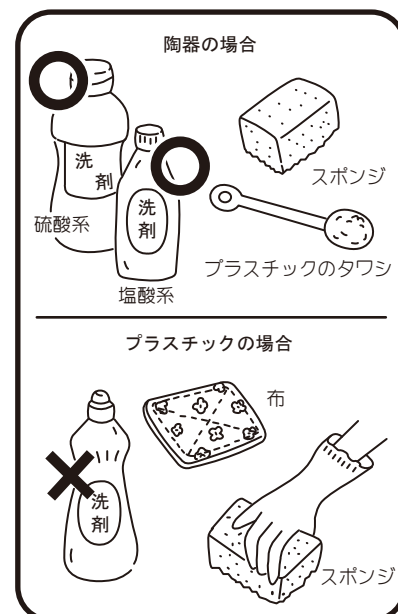
- この製品は簡易水洗便器で、汲み取り式です。水洗トイレではありませんので、公共下水道や浄化槽には接続できません。

寒冷地などの特定地域を除いて、通常の場合一ヶ月に一回汲み取りを行ってください。



お手入れ方法

- 便器を洗剤で洗った後は、水で良く洗い流してください。
- 便器を洗う洗剤や薬品を便座にかけないでください。
- 便座、便ぶたを掃除する時は、やわらかい布やスポンジで水拭きし、洗剤は使用しないでください。
- 便皿部分は、定期的に掃除してください。尿石などで汚れがひどい時は、薬品（サンポール等）で洗い、その後水でよく薬品を洗い流してください。
- 暖房便座を便器から取りはずして、掃除をしてください。
- 掃除される場合は、手袋などで手を保護してください。

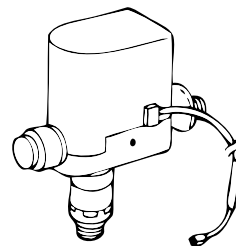


ご使用にあたって

凍結防止ヒーター付（品番F）をご使用の方へ

- エアーフラッシュ保温ヒーターは、凍結の時期になったら電源プラグをコンセントに差し込み、時期を過ぎたら抜いてください。
- このヒーターは-5℃まで耐えられます。
- 長期間使用しない場合は、水抜きをおこない、電源プラグを抜いてください。

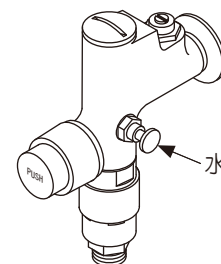
エアーフラッシュ保温ヒーター



寒冷地対策品（品番寒）をご使用の方へ

- 次の方法で水抜きを必ずおこなってください。
 - ①水道の元栓を閉め、エアーフラッシュの水抜き栓を閉めると水が抜けます。
 - ②水が抜けたら、水抜き栓を元に戻してください。

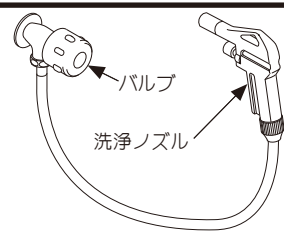
水抜き栓



洗浄ノズル付（品番N・N2）をご使用の方へ

- 洗浄ノズルご使用後は、必ずバルブを閉め、ホース内の水を抜いてください。
- ホースは折り曲げたり、傷付けたりしないでください。

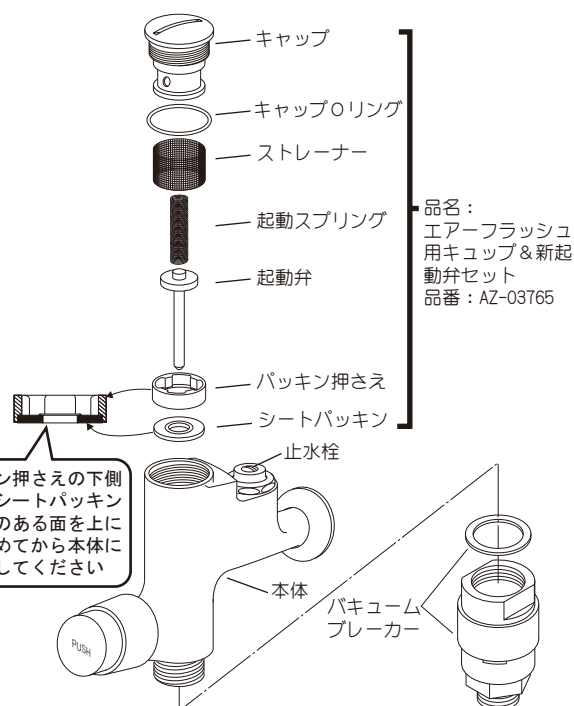
バルブ
洗浄ノズル



ストレーナーの掃除とキャップ&起動弁セットの交換方法

- エアーフラッシュの水の出が悪い場合、ストレーナーにゴミが詰まっていることがあります。次の手順で掃除をしてください。
 - ①壁側の止水栓を閉める。
 - ②キャップを開ける。
 - ③ストレーナーを取り出し水洗いをする。
 - ④元通りにセットし、キャップを閉め、止水栓を開ける。
- 便器内に水が流れている場合は、キャップ&起動弁セットを交換してください。

エアーフラッシュの分解図



こんなときは

状 態	原 因	処 理 方 法
1. プッシュボタンを押しても水が出ない。	①止水栓が閉まっている。 ②ストレーナーにゴミが詰まっている。	➡ 止水栓を開ける。 ➡ 止水栓を閉め、ストレーナーを取り出し、洗淨する。
2. ノズルから便器内へ水もれしている。	①エアフラッシュ内部にゴミが詰まっている。 ②起動弁及びパッキンの摩耗。	➡ 止水栓を閉め、ストレーナー、起動弁を取り出し、洗淨する。 ➡ キャップ&起動弁セットの交換。
3. 便皿に水がたまらない。 (品番L Jのみ)	①便皿周辺部に紙や汚物が付着して、水がたまらない。 ②便皿表面に尿石が付着している。	➡ 便皿周辺部を棒タワシなどで掃除する。 ➡ 尿石落としを使って掃除する。
4. 便皿が開かない。 (品番L Jのみ)	①便槽が満杯でガス圧が強く、便皿を押し上げている。 ②排便管が詰まり、汚物が便皿の開きを妨げている。	➡ 汲み取りを行う。 ➡ 水を流しながら、詰まっている汚物を棒などで押し流す。
5. 床に水がもれる。 (品番L Jのみ)	①フリーチューブの接続不良。 ②便器本体から水がにじむ。	➡ フリーチューブを正常に取り付け直す。 ➡ 本体交換。 ※工事店、メーカーにご相談ください。
6. ウジ及びハエが出る。		➡ 便槽にウジ殺しなどの薬品を投入する。